

青森県農業士だより 第三号

(平成二十三年一月発行)

発行者

青森県農業経営士会
青森県青年農業士会

連絡先

青森市長島一丁目一〇一
青森県構造政策課担い手育
成グループ内事務局

青森県農林水産部長と農業経営士 ・青年農業士との意見交換会



平成二十二年一月四日、青森市のウエディングプラザ・アラスカにおいて、「青森県農林水産部長と農業経営士及び青年農業士との意見交換会」が昨年引き続き農業経営士会・青年農業士会の共催により開催されました。

この意見交換会は、県農政の推進と農業生産現場での課題などについて、意見交換を行い、今後の士会活動に活かす目的で例年開催しているもので、今回は農業経営士二四名青年農業士十一名が参加し、県からは有馬農林水産部長、山本構造政策課長らが出席しました。

今回の意見交換会では、農業の6次産業化をテーマに、直接販売、観光農業、農産加工、農商工連携等の取組について活発に議論されました。その中で、女性農業経営士の熊澤代千美(黒石市)さんか



らは、東北新幹線全線開業を契機とした産直施設巡りバスツアーの企画が、また、青年農業士の佐々木さんからは県内産直施設の売上ランキングの張出が提案されるなど、会場内

は終始積極的な発言が繰り返されました。一方、有馬部長も、県農政に対する前向きな提案などについて理解を示し、おもしろい企画案については早速関係部署への提案を約束するなど真摯に回答されていました。

また、青年農業士から日頃の経営上の疑問や悩みなどが出されると、先輩農業経営士からは自分の経験に基づく的確な助言が飛び出すなど、これまでになく



盛り上がった意見交換となりました。終了後は会場を移して、意見交換会で聞けなかった事について、さらに突っ込んだ情報交換が行われました。



平成二二年度夏期県外研修会及 び東北・北海道地域農業士研究会

平成二二年八月二五日と二六日、夏期県外研修会を開催し、宮城県名取市の宮城県農業・園芸総合研究所でりんごを中心とした果樹の試験研究の状況を視察したほか、松島町では(有)F・F磯崎では、「大規模法人経営における経営の多角化と異業種交流」について研修しました。

引き続き、八月二六日と二七日には松島町「松島一の坊」を会場に開催された東北・北海道農業士研究会宮城県大会に参加しました。

大会には七道県の農業経営士・青年農業士ら約二百名が参加し、食育・食文化、6次産業化・農商工連携、地域農業の活性化等について、活発に情報交換が行われました。

平成二二年度大会は、八月三十日と三十一日、福島県二本松市で開催される予定です。二二年度に参加できなかった会員の皆様も、是非ご参加ください。



(有)F・F磯崎 高橋代表取締役 米、大豆、小麦、野菜の栽培と直売、作業受託の他、カキの養殖も行う国内唯一の半農半漁の農業生産法人。町内の80%のホテルと契約取引。

宮城県農業・園芸総合研究所池田果樹チームリーダー りんごの試験研究内容を中心に視察。省力栽培試験として、棚仕立て栽培を試験中。少積雪の地域では期待が高いとのこと。



全体交流会では、地元の新鮮な食材をふんだんに使った料理でもてなされたほか、二次会では各道県から持ち寄った自慢の地酒で夜遅くまで交流を深めた。

松島町「松島一の坊」にて平成22年度東北・北海道農業士宮城県大会に参加。農業士約200名参加。現地研修は①野菜・果樹、②耕畜連携・畜産、③農村起業、④米粉・家族経営協定、⑤花き・水稻の6コース。

**青森県農業経営士会県内研究会
・青年農業士会現地研修会・中南
地区3士会合同研修会**

平成二二年七月二二日、中南地区において、青森県農業経営士会、青森県青年農業士会、中南地区3農業士会合同の研修会を開催しました。この研修会は、各地区で行っている行事に県農業経営士会・青年農業士会が参加することで、会員間の交流と地区活動の活性化を図ることを目的に、平成二一年度から新たに実施した事業です。

二年目は中南地区を開催地とし、当日は三七名が参加し、青年農業士・農業経営士のほ場、施設や農産物直売所を視察したほか、情報交換会も行い、交流を深めました。

平成二二年度も開催地を変え、各地区農業士会との交流を図っていく予定です。二二年度に参加できなかった会員の皆様も、二二年度はぜひご参加ください。



弘前市薬師堂の農業経営士、斎藤靖彦氏(前経営士会長)のミトマ水耕栽培ハウス109a。氏が代表を務める(有)まごころ農場は社員8名。冬の農業事業を活用して導入した廃材ボイラーに質問集中。

視察先一ヶ所目は、弘前市原ヶ平の青年農業士小林政貴氏のリンゴわい化園。近年わい化を増やしており、現在440a。出荷はJAが8割で、出荷組合を通じた出荷も。紋羽対策が課題。

◎現地研修会終了後は、県農業経営士会・青年農業士会と中南地区3士会の合同での情報交換会が弘前市駅前町「さくら亭」で行われました。

情報交換会では、地元中南地区から22名の会員が参加し、夜遅くまで交流を深めました。

◎平成23年度の県内研修会は三沢地区を予定しています(時期は未定)。農業経営士、青年農業士の皆さんの多数の参加をお願いします。



弘前市石川の農産物直売施設サンフェスタいしかわ。県内でも随一の売り上げを誇る同施設の取組を研修。農産物の直売の他、豆腐かまぼこやみそ漬けなど郷土食の加工・販売が順調に売り上げを伸ばしている。

農業士等育成研究事業による活動

～上北地域農業士会連絡協議会との合同 研修会・情報交換会～ <三沢地区>

平成22年9月9日、三沢地区農業士会は、上北地域農業士会協議会（十和田地区、野辺地地区）と合同で、青年農業者や新規参入者を含め総勢43名の参加を得て現地研修会や情報交換会を実施しました。

現地研修は、(有)身土不二(東北町)、東日本ローズカントリー(七戸町)で行い、東北町役場では(有)アプレットの対馬社長を講師にネット販売について学びました。



～4Hクラブとの合同現地研修会～ <三戸地区>



三戸地区農業士会は、平成22年11月2日、4Hクラブと合同で、ほ場巡回と意見交換会を実施しました。

現地巡回では、農業経営士の留目さん、青年農業士の石井さん(いずれも南部町)の農園を巡回し、参加した農業経営士からは参考となる経営的な助言が相次いで出されていました。

また、引き続き田子町のなめこ農場、池田ファームの視察も行いました。



～鱒ヶ沢地区指導農業士会視察研修～ <鱒ヶ沢地区>

鱒ヶ沢地区指導農業士会では、平成22年12月16～17日に4Hクラブ員を参集して、秋田県北の先進事例経営の視察研修を実施しました。



研修は、アイガモを使った米の無農薬栽培やネットを利用した稲の生育管理の取組事例として北秋田市の(有)藤岡農産と、大規模枝



豆栽培、無人ヘリによる薬剤防除受託の事例として大館市の(有)アグリ川田を視察しました。

～中南地域農業経営士・青年農業士合同研修会～ <弘前地区>



平成22年12月22日、中南地域（弘前、黒石、平賀地区）の農業経営士・青年農業士3組織合同で、県農業経営士会副会長の兼平則雄氏(鱒ヶ沢町)を講師に、「これからの大規模経営」と題した講演会を行いました。

また、当日は講演会の他、全体討議をとおして、地域農業の活性化と担い手育成等について活発な議論が交わされました。